

「マクロ経済学Ⅰ」試験問題（2014年8月1日9時30分～10時30分施行）

法政大学（リベラルアーツ）2014年度春学期、担当者名：蓮見 亮

問題用紙は1枚紙表裏（問4まで）、解答用紙は別紙

持ち込み不可（ただし、事前に許可を受けた場合を除く）

電子機器は電卓のみ使用可

問1. 以下の文章を読んで、に入る適切な語句を次の枠線内の語句から選んでA～Uの記号で解答しなさい。なお、複数回用いる語句、一回も用いない語句も含まれている。

A. 物価	B. 投資	C. 貨幣供給量	D. 信用創造
E. 中央銀行	F. 物的資本	G. 技術知識	H. 消費者物価指数
I. 株式市場	J. 金融システム	K. 生産性	L. 流通速度
M. 交換手段	N. インフレ率	O. 逆数	P. 公開市場操作
Q. 債券市場	R. 銀行	S. 貨幣数量説	T. 価値貯蔵手段
U. 政策金利			

- 異なる時点での生活水準や所得水準を比較するには、 (ア) を用いるのがよい。
- 物価指数の伸び率を (イ) という。基準年次第で (ウ) は変わるが、 (エ) は変わらないので、通常はこちらを経済指標として参照する。
- 世界の国々の生活水準の格差は、 (オ) の違いに起因する。
- (オ) は、 (カ) 、労働者一人当たりの (キ) 、人的資本、天然資源により決定される。長期的な成長率を高めたければ、そのいずれかを改善する政策をとればよい。
- 国民経済計算（GDP統計）では、純輸出ゼロならば (ク) と国民貯蓄は等しくなる。
- その意味は、マクロの貯蓄と投資が等しいという意味であって、個々の家計や企業の貯蓄と投資が等しくなければならない、という意味ではない。これが成り立つように、 (ケ) が仲介している
- (ケ) は金融市場と金融仲介機関の2つのカテゴリーに分けられる。金融市場の代表例は (コ) と (サ) であり、金融仲介機関の代表例は (シ) と投資

信託である。

- 中央銀行の役割には、
 - (ス) の安定
 - (セ) の維持・監督
 - 金融政策の実行がある。
- 中央銀行は、(ソ) によって (タ) を調整し、(チ) を目標値に誘導する。
- 一般物価水準を P とすると、貨幣の価値はその (ツ) として表される。
- (テ) によると、長期では、貨幣市場において、貨幣の需要と供給が一致するように物価水準が調整される。貨幣供給量は (ト) により任意の水準に決定され、貨幣需要量は家計が (ナ) として流動性の高い貨幣をどれだけ持ちたいかにより決まる。貨幣の (ニ) が一定で、GDP が貨幣量と無関係ならば、貨幣の価値は貨幣供給量に反比例する。

(裏面に続く)

問2. GDP（国内総生産）について、以下の間に答えなさい。

I. GDPの定義を説明しなさい。必要に応じて最終的な財という用語を用いること。

II. 実質GDPを社会の経済的福祉の尺度として考えた場合、不十分な点がしばしば指摘される。どのような点で不十分か、必要に応じて環境、余暇という用語を用いて説明しなさい。

III. 次の表をみて、(1)～(6)の2013年度の値を答えなさい。(4)～(6)については、小数点以下第2位を四捨五入した値を回答すること。

【2013年度の実質国内総生産（2005年価格）】

民間最終消費支出	316
民間住宅	15
民間企業設備	70
政府最終消費支出	102
公的固定資本形成	23
在庫品増加	-4
財貨・サービスの輸出	85
財貨・サービスの輸入	78

(単位：兆円)

【2013年度のデフレーター】

GDPデフレーター	91
-----------	----

(単位：2005年=100)

【2012年度の国内総生産】

実質GDP（2005年価格）	518
名目GDP	473

(単位：兆円)

- (1) 総資本形成（在庫投資を含む）
- (2) 財貨・サービスの純輸出
- (3) 実質国内総生産
- (4) 名目国内総生産
- (5) 実質成長率（%）
- (6) 名目成長率（%）

IV. 名目GDPと実質GDPのどちらが社会の経済的福祉の尺度として適切か解答した上で、その理由について説明しなさい。

問3. X国では米を生産する農家と、農家から米を仕入れ、消費者に販売する小売業者のみが生産活動を行っているものとする。その生産高、小売業者の仕入価格、小売業者の小売価格は以下の表のとおりだったとする。

年	生産高 (トン)	仕入価格 (万円/トン)	小売価格 (万円/トン)
1	2	20	50
2	2.5	30	60
3	3	30	75

I. X国の各年の名目GDPは何万円か (解答は単位を省略して数値のみでよい。以下同じ)。

II. 農家は売上の3割を地主に収め、小売業者は売上と仕入の差額がそのまま所得になるものとする。農家、地主、小売業者の各年の所得 (名目) は何万円か。

III. 第1年を基準年とした場合のX国の毎年の実質GDPは何万円か。

IV. 第1年を基準年とした場合のX国の毎年のGDPデフレーターを答えなさい。基準年でのGDPデフレーターの値は100に規格化するものとする。

問4. 構造的失業は、しばしば雇用主が求める技能・技術と労働者の保有する技能・技術とのミスマッチから発生する。この考え方を探求するため、自動車製造と航空機製造の二つの産業で構成される経済を想定しよう。

I. これら二つの産業の労働者には同じ量の訓練が必要であり、しかも、職に初めて就こうとする労働者がどちらの産業で訓練を受けるかを選択できるとすると、これら二つの産業の賃金にどのようなことが起こると考えられるか。

II. あるとき経済が国際貿易を開始することになり、その結果、自動車を輸入し航空機を輸出することになったとしよう。これら二つの産業の労働需要に何が起こるか。

III. 一方の産業の労働者は、もう一方の産業で働くための再訓練を受けるのに時間がかかり、かつその定員には限りがあるとしよう。このとき、II. のような需要のシフトは、自動車製造業と航空機製造業の均衡賃金にどのような影響を与えるか。短期と長期に分けて説明しなさい。

IV. 雇用主と労働組合が賃金の水準を長期的に固定する契約を結んでいたため、賃金がIII. の短期の新しい均衡賃金に調整できなかつたとすると、何が起こるか。